

図書館だより

☆2024松陵生によく読まれた本☆

☆『告白』(湊かなえ 双葉社 2008)

我が子を校内で亡くした中学校の女性教師によるホームルームでの告白から、この物語は始まる。読みすすめていくと、衝撃的なラストがあなたを待っています。第6回本屋大賞受賞作品です。

☆『アオのハコ』(三浦糺 集英社 2021)

バドミントン部に所属する猪股大喜は、女子バスケット部の先輩・鹿野千夏に恋をしています。大喜の部活に恋に勉強に充実した高校生活が描かれています。みなさんが共感できる青春部活ラブストーリーです。

☆『変な家』(雨穴 飛鳥新社 2021)

謎の空間、二重窓、窓のない子供部屋…。知り合いの設計士にその間取り図を見せると、この家は、そこかしこに「奇妙な違和感」が存在すると言う。間取りの謎をたどった先に見たものとは…。読み出したら止まらない不動産ミステリー。

☆『生命の始まりを探して僕は生物学者になった』(長沼毅 河出書房新社 2016)

深海、砂漠、北極&南極、地底、そして宇宙へ…“生物学界のインディ・ジョーンズ”こと長沼センセイが、極限環境で出会ったフシギな生物の姿を通して「生命とは何か？」に迫る！

☆『汝、星のごとく』(凧良ゆう 講談社 2022)

瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權。ともに孤独を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、成長していく。生きることの自由さと不自由さが丁寧に描かれています。2023年本屋大賞受賞作品です。

続編『星を編む』(凧良ゆう 講談社 2023)も発行されています。

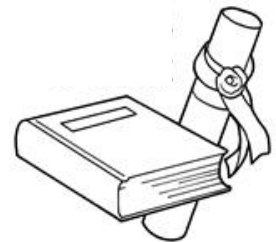
☆『成瀬は天下を取りにいく』(宮島未奈 新潮社 2023)

「島崎、わたしはこの夏を西武に捧げようと思う」中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬が変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を迎える西武大津店に毎日通い、中継に映るといのだが…。さらにM-1に挑み、実験のために坊主頭にし、二百歳まで生きるなど堂々宣言。全力で我が道を突き進む成瀬から目が離せなくなります。続編『成瀬は信じた道をいく』(宮島皆未奈 新潮社 2024)も発行されています。

☆3年生のみなさんへの貸出は終了します☆

3年生の貸出は1月31日(金)で終了します。今後は返却のみ受け付けます。

進学先からの課題などで、どうしても図書館の利用が必要な場合はご相談ください。



☆行方不明の本を探しています☆

冬休み中に図書館の蔵書点検を行いました。その結果、行方不明になっている本があることがわかりました。

各クラスに掲示してある所在不明リストに掲載されている本をお持ちの方は、貸出処理がされていないのですぐに図書館へお返しください。昨年度も行方不明だった本が教室や部室などからみつかっています。

見つけた方は図書館、または昇降口の返却ポストにお返しください。図書館の本は学校の大切な財産です！